

# イノベ機構における今後（５年間）の取組の重点

## 資料7

### ①「地域の稼ぎ」への貢献

#### （問題意識）

- ・イノベ地域における産業基盤の再構築を実現するため、開発成果等が、①事業展開・事業拡大へと進むとともに、②福島県内での取引拡大・量産化までつながることが重要。特に、「実証の聖地」としての支援、新市場創出に向けた支援、量産化準備段階の支援を含め、事業展開段階の支援を強化する。
- ・進出企業や地元企業、幅広いステークホルダーによる連携を強化し、様々なイノベーションを生み出せる仕組みを構築する。

#### （今後の取組の方向性）

##### ☆「あらゆるチャレンジが可能な地域」×「地域の稼ぎ」

##### ● シーズ発掘・研究開発段階への支援や呼び込み、実証段階への支援

- ・様々な支援機関等との有機的な連携体制の構築
- ・実証プロジェクト等の誘致、環境整備、“絆”特区活用等の伴走支援

##### ◎ ● 事業展開段階への支援

- ・有機的連携体制による、販路拡大支援、周辺サプライチェーンからの調達拡大支援、企業OB専門人材確保 等

##### ◎ ● 産業集積・サプライチェーンの創成

- ・発展段階に関わらない、域内外からの多様な民間投資の呼び込み
- ・重点6分野における戦略的サプライチェーン構築促進

##### ☆「あらゆるチャレンジが可能な地域」×「日々の暮らし」

##### ● 社会実装への支援等

- ・地域課題解決型企業の製品等を対象とした、自治体・地元企業による先進的な導入、イノベ機構によるマッチング支援等

##### ☆「地域の企業が主役」×「地域の稼ぎ」

- 面的サプライチェーンの構築支援
- 共創的コミュニティの構築支援・ネットワークの強化

# イノベ機構における今後（５年間）の取組の重点

## ②「担い手の拡大」への貢献

### （問題意識）

- ・ 担い手育成のため、義務教育～高校段階で引き続き地域の魅力等について学ぶ機会が必要。
- ・ 担い手確保のため、浜通り地域等での大学の活動の継続・強化や全国の若者への情報発信強化が必要。

### （今後の取組の方向性）

#### ☆「次世代を担う人材育成」

##### ● 次世代を担う人材の育成、構想を支える人材の確保

- ・ 大学・高専・F-REI・産業界等と連携した魅力・特色ある教育プログラムの実施
- ・ イノベ構想に基づく取組やその成果を県内の学校等に幅広く共有
- ・ 福島県双葉郡教育復興ビジョンの「探究」重視の教育の深掘り

##### ● 地域に根付く教育等機能集積

- ・ 大学間・F-REI・地元企業との連携強化
- ・ これまでの復興知事業への参加者・関係者との継続的な関係性の構築
- ・ これまでの復興知事業への参加者・関係者の地域での就職や起業を含めた定着促進

#### ☆「関係人口等を含む担い手の拡大」

##### ● 交流人口等の拡大・移住促進

- ・ イノベ構想の成果について域内・県内への効果的な情報発信、女性や若者がイノベ構想の実現に参画し、活躍したいと思えるような情報発信
- ・ 移住・定住に繋がる可能性のある交流人口等の拡大に、地域側が積極的に取り組めるような自治体支援

## (参考) これまでのイノベ機構の主な取組 【産業集積に向けて】

浜通り地域等への企業誘致や製品の開発・実用化支援、進出企業と地元企業とのマッチングなど産業集積の取組を進めてきた。

### ●イノベ実用化補助金採択企業の伴走支援

- ・支援数 **194社/220テーマ** (R6年度末時点)
- ・事業化に至った事例 **累計129件** (R6年度末時点)

### ●スタートアップの呼び込み・起業・創業

(Fukushima Tech Crate (FTC))

- ・支援プロジェクト **累計186件** (R6年度末時点)

### ●企業誘致 (立地セミナーや現地見学ツアーの開催)

- ・企業立地件数 **433社** (R5年度末時点)
- ・雇用創出数 **4,972人** (R5年度末時点)

### ●県内企業の廃炉関連産業参入支援

- ・福島廃炉関連産業マッチングサポート事務局登録企業数 **210社**  
(R6年度末時点)
- ・成約件数 **1,481件** (R6年度末時点)

### ●農業参入支援

### ●RTFの運営 (実証環境の提供)

- ・RTF活用事例 **1,196事例** (R6年度末時点)
- ・ロボット関連事業者の進出数 **81社** (R6年度末時点)



東京で開催したピッチイベント



ビジネスアイデアコンテスト「イノベのたまご」



イノベ構想参画促進セミナー

## (参考) これまでのイノベ機構の主な取組 【人材育成・確保や交流人口の拡大等に向けて】

県内の小～高校生を対象に、イノベ構想の担い手となる人材の育成を進めてきた。また大学が浜通り地域等で実施する教育・研究活動を支援してきた。さらに、交流人口拡大や避難地域への移住促進に向けた取組や、情報発信を行ってきた。

### ●双葉郡8町村や避難地域12市町村での教育支援

- ・ 双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事務局  
（「ふるさと創造学」の実施支援）など

### ●県内高校生を対象にした「イノベ教育」

### ●「復興知」事業

- ・ 全国から集まった17大学・21事業がイノベ地域で活動
- ・ 学生の成長、地域の子どもの育成、地域課題の解決、  
市町村との連携において成果

### ●F-REIや構想参画企業と協力した出前講義 「イノベ未来講座」の実施

- ・ 2024年度 40回開催

### ●交流人口拡大のための地域の魅力創造

- ・ 大学生等に向けた情報発信、ツアー・イベント実施など

### ●避難地域12市町村への移住・定住促進

- ・ 12市町村への移住者数 2,241人（R1-5年度累計）

### ●東日本大震災・原子力災害 伝承館での情報発信

- ・ 累計入館者数 362,450人（R6年度末時点）



ふるさと創造学サミット



浜通り地域等のツアー開催支援



避難地域への移住をテーマにした  
ドラマへの制作協力